

「専門家」という
甘えの構造



日時 **2016年10月15日(土) 15:30~17:30**
会場 成城大学 3号館 311 教室
講演 **佐藤 良明** (放送大学教授、東京大学名誉教授)
司会 **山本 敦久** (成城大学准教授)

「専門家」という甘えの構造



講演シリーズ開催のねらい

成城学園創立100周年・成城大学共通教育研究センター開設10周年を記念し、共通教育研究センターの教員がコーディネートした公開講演シリーズを開催します。

近年、教育の質保証のあり方として、アクティブ・ラーニング、反転授業といった方法が脚光をあびていますが、ややもすれば授業の進め方という形式的、表面的な改善に流れてしまうきらいがあるのではないのでしょうか。

こうした問題を念頭に「いま、教養教育を問う」を統一テーマとして、教養教育に関わってきた気鋭の研究者に、自身の教育実践と教養教育への考えを講演していただくことで、近年の教養教育のあり方を問う様々な議論に一石を投じる講演シリーズを企画しました。

第1回目は、1990年代に東京大学教養学部における英語教育の改革を主導した佐藤良明氏をお迎えします。佐藤氏には、教育実践の場を大学⇒NHKの英会話番組の教材制作（リトル・チャロ・シリーズ）⇒放送大学へと広げ、いまなお英語圏文化の研究をベースにしながら英語教育を実践する、そのコツや意図（背景）を豊富な経験をもとにお話しいただきます。フロアとの議論は、英語教育にとどまらず、教養教育と専門教育との緊張関係を構築する端緒を開くことになるのではないかと期待しております。

会場へのアクセス



小田急線「成城学園前」駅より、北口を出て徒歩5分
※小田急線「急行」は停車しますが、「快速急行」は通過となりますので注意してご乗車ください。

問合せ先 成城大学共通教育研究センター

TEL 03-3482-9556

http://www.seijo.ac.jp/education/support/ge-center/
E-mail: kyotsu@seijo.ac.jp

※参加費無料

登壇者の紹介

佐藤 良明 (さとう よしあき)

1950年山梨県生まれ。群馬県に育つ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退（英語英文学専攻）。東京大学教授を経て、現在、放送大学教授、東京大学名誉教授。専攻は英語圏文化。

アメリカの小説家トマス・ピンチョンの研究を皮切りに、1980年代には人類学者グレゴリー・ベイトソンの研究、紹介、翻訳を軸とした評論活動を行う。1990年代には、東京大学教養学部（駒場）における英語教育改革を主導した。全学共通の英語テキスト『The Universe of English』（東京大学出版会）シリーズは学内外から大きな反響を呼んだ。2000年以降は、ポピュラー音楽研究に主軸を移しつつ、NHK英語講座の教材製作と出演に関わり、新潮社「トマス・ピンチョン全小説」の翻訳企画をほぼ完結。昨年からは放送大学で社会人教育への取り組みを始めている。

著書に、『ラバーソウルの弾みかたービートルズから《時》のサイエンスへ』（岩波書店、1989）、『これが東大の授業ですか。』（研究社、2004）、トマス・ピンチョン『重力の虹』（上下）、（翻訳、新潮社、2014）ほか多数。

司会

山本 敦久 (やまもと あつひさ)

1973年長野県生まれ。筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程満期退学。現在、成城大学社会イノベーション学部准教授。専攻はスポーツ社会学、カルチュラル・スタディーズ。

著書に、『身体と教養－身体と向き合うアクティブ・ラーニングの探求』（編著、ナカニシヤ出版、2016）、『スポーツ観戦学－熱狂のステージの構造と意味』（共著、世界思想社、2010）、『「ハーフ」とは誰か－人種混淆・メディア表象・交渉実践』（共著、青弓社、2014）など。

シリーズコーディネーター

東谷 護 (とうや まもる)

1965年神奈川県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。博士（人間・環境学）。現在、成城大学文学部教授。専攻は音楽学、大衆文化史、表象文化論。

著書に、『マス・メディア時代のポピュラー音楽を読み解く』（勁草書房、2016）、『進駐軍クラブから歌謡曲へ』（みすず書房、2005）など。

今後の公開講演「いま、教養教育を問う」

【#2】 2017年3月4日（土）森 利枝（大学改革支援・学位授与機構教授）

「教養教育をどうとらえるか－歴史的視点から考える－」

【#3】 2017年5月13日（土）小島 美子（国立歴史民俗博物館名誉教授）

塚原 康子（東京芸術大学教授）

「狭い音楽観からの解放」

【#4】 2017年7月15日（土）伊藤 守（早稲田大学教授）

田中 東子（大妻女子大学准教授）

「メディア報道を読み解く技法」

【#5】 2017年10月7日（土）標葉 靖子（東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 特任講師）

「科学リテラシーはどこまで必要か」

※日程、登壇者、講演内容は変更になることがあります。